

鹿部町立鹿部中学校

教員数：14名 全校生徒数：84名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル 学習習慣定着モデル

デバイス : WindowsPC
OS : WindowsOS
学習eポータル : L-Gate
アプリ : ミライシード、
Windows Education

■ 取組の方法

- 端末の持ち帰りによる授業と家庭学習の関連付けを図る取組
 - (1) 学習内容の定着に向けた家庭学習の課題をオンライン上で提出させる取組
 - ・国語科や英語科における、「Windows Education」の「ラーニング・アクセラレータ」を活用した音読課題を実施
 - ・生徒が端末を活用し、授業の振り返りを行うことができるよう、クラウド上に教科のプラットフォームを作成
 - ・長期休業中にAIドリルを活用した家庭学習の取組を実施
- 家庭学習を充実させ、自ら学習を調整する力の育成に向けた取組
 - (1) 年3回の幼小中連携した家庭学習強調週間の取組
 - ・地域全体で子どもの家庭学習習慣の確立を図るため、家庭・地域と連携した家庭学習強調週間を設定
 - (2) 学習履歴を活用し、学習の改善等に生かす取組
 - ・AIドリルの問題配信機能の活用により、個に応じた学習内容を提示するとともに生徒の学習状況を記録化し、日常的な学習指導や教育相談に活用

保護者の皆様へ

鹿部町幼小中連携

家庭学習強調週間のお知らせ

向学の豚、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素

【家庭学習強調週間】

★幼稚園★ 6月19日(水)～6月25日(火)
○この期間は、家庭での親子でのふれ合いを大切にする期間に会話をしたり、一緒に絵本を読んだり、親子で過ごす。

★小学校★ 6月19日(水)～6月25日(火)
◎学年×10分+10分(1年生20分～6年生70分)を組みましょう。
◎低学年は、宿題やプリントを中心とした学習に取り組み
◎3年生以上は、宿題やプリントの他に自分で計画を立て組みましょう。(家庭学習の手引きを参考にしてください)
◎『家庭学習チャレンジカード』に、取組状況を記入しま

★中学校★ 6月19日(水)～7月3日(水) 【定期テ
◎1学期の定期テストに向けて、自分の計画に沿って学習

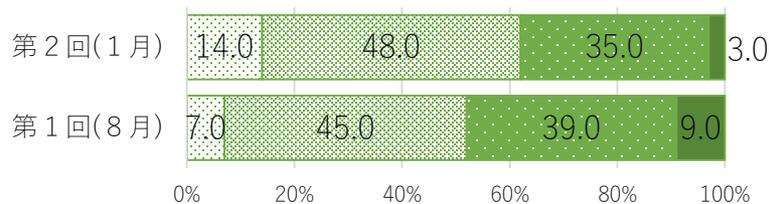
【幼小中連携家庭学習強調週間の取組】

■ 生徒の変容

端末の持ち帰りによる授業と家庭学習の関連を図る取組や、学習習慣の定着に向けた取組を行ったことにより、「家で振り返り、次の学習につなげている」のアンケート項目において、肯定的に回答した生徒の割合が52.0%から62.0%に増加した。

AIドリルの活用により、生徒が主体的に家庭学習に取り組む様子が見られ、学習習慣の定着を図ることができた。

「家で振り返り、次の学習につなげている」



■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない

厚沢部町立厚沢部中学校

教員数：14名 全校生徒数：89名 実施学年：第1学年

端末持ち帰りモデル 学習習慣モデル

デバイス : WindowsPC
OS : WindowsOS
学習eポータル : L-Gate
アプリ : Canva、フォーサイト、
Google Workspace for Education

取組の方法

○ 端末を活用した家庭学習の工夫と個に応じた学習習慣等の定着

① 端末を活用した家庭学習の推進

- ・生徒が授業の学習内容を予習しやすくするために、クラウドを活用して必要な資料を配付した。
- ・生徒が他者の取組を参考にして家庭学習を進めることができるようにするため、授業においてクラウドを活用した他者参照の場면을積極的に位置付けた。
- ・生徒が家庭において、その日の授業の振り返りができるようにするため、学級全員の振り返りをクラウドに保存した。

② 学習履歴の活用による学習習慣の確立

- ・ループリックを活用した自己評価を習慣化することで、生徒自身が自己の変容や課題を確認し、家庭学習を行うことができるようにした。
- ・手帳ツールを活用して生徒が毎日の振り返りや学習状況を記録し、教師がアドバイスを入力することで、望ましい学習習慣の確立を図った。



【クラウドに振り返りを入力している様子】

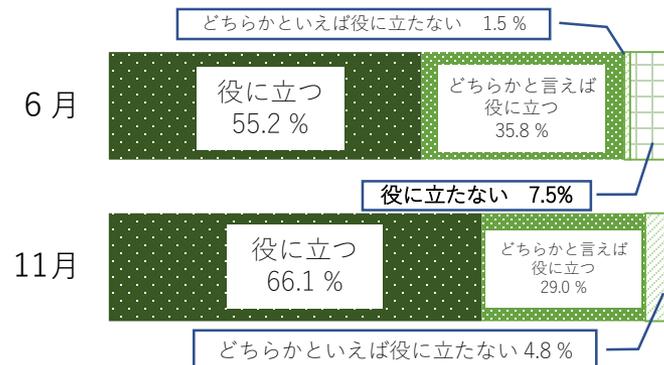
生徒の変容

6月と11月に実施したアンケートの結果、「自宅での学習にICT機器が役に立つと思う」と肯定的に回答した生徒が6月と比較して4.1%増加した。

増加の要因として、生徒が端末やクラウドの必要性を実感し、生徒にとって日常的なツールとして定着しているためと考えられる。

今後は「ICTを活用した個別最適な学びの充実」による生徒の主体的な学びの促進を目指した校内研究を推進していく。

自宅での学習にICT機器は役に立つと思いますか



江差町立江差北中学校

教員数：10名 全校生徒数：22名 実施学年：全学年

デバイス : WindowsPC
OS : WindowsOS
学習eポータル : Qubena
アプリ : SKYMENU、GeoGebra

端末持ち帰りモデル 学習習慣定着モデル

取組の方法

○ 全生徒が原則端末を持ち帰り、家庭学習を計画的・継続的に実施

① デジタル教科書の活用

・家庭学習においてデジタル教科書を活用できるよう、外国語科及び数学科の授業において、デジタル教科書を活用した授業と関連した家庭学習を提示

② 「SKYMENU」の活用

・生徒が家庭において他者と交流しながら学習することができるようにするため、授業において、「SKYMENU」を活用

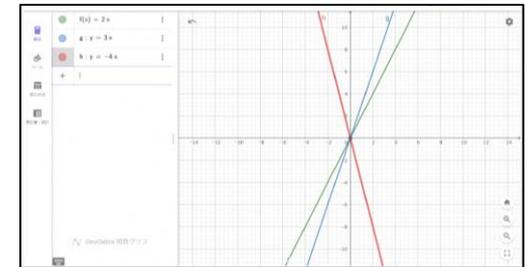
③ 「GeoGebra」の活用

・かいたグラフや図形を他者と交流したり蓄積したりできるようにするため、数学科において、「GeoGebra」を活用

○ 学習習慣確立のため、学習履歴をクラウドに蓄積

① AIドリルの活用

・生徒が家庭学習の取組時間を決め、AIドリルに記録された結果を振り返る場を設定し、生徒自らが学習習慣を見直す取組を推進



【生徒が「GeoGebra」で作成したグラフ】

生徒の変容

・生徒アンケートにおいて、7月と1月を比較し、「家で、コンピュータなどのICT機器で勉強している」と回答した生徒の割合が、33.3%から45.0%に増加した。

・AIドリルを家庭学習に位置付けて取組を進めたことにより、「家でICT機器、タブレットPCを使うときはどんなことに使っていますか」という設問に対して、「AIドリル」と回答した生徒の割合が、7月が23.8%、1月が55.0%となり、31.2%増加した。

「家で、コンピュータなどのICT機器で勉強していますか」

